

環境省容器包装廃棄物 3 R 推進モデル事業について

1. 環境省容器包装廃棄物 3 R 推進モデル事業について

- 環境省では、地方公共団体、事業者、消費者等の協働による地域における容器包装廃棄物の 3 R の取組を推進するため、平成 18 年度、「容器包装廃棄物 3 R 推進モデル事業」を創設。
- 他の地域のモデルとなるような創意工夫に優れた事業を選定し、各事業の結果を取りまとめて広く周知することにより、循環型社会の形成に向けた地域からの取組を促進。
- 今年度は、別紙の 7 事業を実施（10 月 16 日報道発表）。

2. 地域における自主協定に関するモデル事業の概要

(1) 「杉並区レジ袋削減 3 R 推進モデル事業」について

- 杉並区では、平成 14 年に「杉並区レジ袋削減推進協議会※¹」が設立され、「レジ袋削減 3 R 推進モデル事業」が進められていたところであり、上記の環境省モデル事業の一つとして選定。
- この事業の一環として、杉並区では、(株)サミット、杉並区レジ袋削減推進協議会との間で「地域自主協定」を締結し、10 月 16 日（月）に、山田杉並区長、高田(株)サミット社長、根本杉並区レジ袋削減推進協議会長の出席の下、調印式を行った（環境省からも土屋品子環境副大臣が出席）。

※ 1 杉並区レジ袋削減推進協議会

区民・事業者・行政が立場の違いを超えて、21 世紀における環境先進都市をめざす観点から、レジ袋の使用を抑制し、ライフスタイルを見直す環境負荷の少ない地域社会を展開するために結成

（平成 14 年 5 月結成：会長 根本郁芳（東京商工会議所杉並支部長））

- 地域自主協定の具体的な内容としては、レジ袋削減を更に一歩進めるため、区民・事業者・行政が一体となって地域自主協定を締結し、レジ袋削減推進モデル店でのレジ袋有料販売の実証実験や関係者の協働による啓発事業、これまでの取組の全国への発信等を行うもので、実験期間中に得たレジ袋の収益は、地域の環境教育等へ還元される予定。

(2) 「池田市レジ袋削減 3 R 推進モデル事業」について

- 池田市では、平成 18 年に事業所との自主協定の締結をはじめとするレジ袋等の容器包装廃棄物の 3 R を推進するために、池田市レジ袋削減等 3 R 推進協議会^{※2}を設立し、市民、事業者及び行政が一体となってレジ袋の削減に取り組むこととしており、環境省モデル事業の一つとして選定されている。
- 11 月 14 日（火）には、池田商工会議所、池田市商店会連合会、池田市市場会連合会、池田市工業振興会、市民団体の代表及び倉田市長が出席して「地域自主協定」の調印式が開催された。

※2 池田市レジ袋削減等 3 R 推進協議会

商工会議所・池田市商店会連合会、池田市市場会連合会、池田市工業振興会等の事業所、池田エイフボランタリーネットワーク、婦人会等市民団体と池田市が参加して協議会を設立し、事業所との自主協定の締結をはじめとするレジ袋等容器包装廃棄物等の排出抑制等 3 R の推進を図るために結成

（平成 18 年 11 月結成：会長 中井 久（池田市市場会連合会長））

- 地域自主協定の具体的な内容としては、レジ袋削減を更に一歩進めるため、関係者が一体となって、レジ袋削減運動を展開するとともに、学校教育とも連携しながら学校、住民の意識向上と容器包装廃棄物の 3 R を一体的に推進する事業を実施する。

平成 18 年度容器包装廃棄物 3 R 推進モデル事業一覧

番号	事業名	事業主体 ()内は実施地域	事業概要
1	モデル市町村のリターナブルびん分別収集有効性・効率性検証事業	ガラスびんリサイクル促進協議会 (東京都目黒区、神奈川県大和市、京都市、沖縄県那覇市)	自治体の先進的なリターナブルびんの収集について、その分別収集、選別、保管、引渡しまでのフローを把握するとともに、市町村のコスト、消費者の利便性や意識等の課題を把握し、市町村の分別収集の有効性・効率性の検証を行う。
2	早稲田大学キャンパスとその周辺地域における3R推進コミュニティモデル事業	早稲田商店会・早稲田大学環境総合研究センター (東京都新宿区)	大学と地域商店街の協働により、地域通貨の仕組みを活用して、地域におけるレジ袋削減行動や空き缶やペットボトルの回収、弁当容器のリユースの取組等の3R推進活動を活性化し、その効果を数値的に把握・評価する。
3	レジ袋の有料化等による使用削減推進モデル事業	杉並区レジ袋削減推進協議会 (東京都杉並区)	地域自主協定によるレジ袋有料化を実施し、その効果・影響等を検証する。また、様々な主体の協働によるレジ袋削減3R運動を推進するとともに、これまで推進協議会で進めてきたレジ袋対策のノウハウと課題を取りまとめる。
4	リターナブルびん利用促進モデル事業	リターナブルびん利用促進モデル事業推進連絡会 (神奈川県茅ヶ崎市)	自治体、商店会・小売酒販組合、地元消費者団体等が協働で推進連絡会を組織し、Rマークびんを含むリターナブルびんの利用(販売)促進、販売店ルートでの回収促進等を図り、その効果、各主体の役割について把握・検証する。
5	きめ細やかな分別収集に係るモデル事業	京都大学環境保全センター (京都市)	プラスチック製容器包装について、よりきめ細やかな分別収集をモデル的に実施し、収集量と質、再商品化の品質向上効果等を検証する。また、市町村・消費者の負担、消費者の協力の状況等についても調査し、課題を把握・検証する。
6	自主協定により進めるレジ袋削減等3R推進モデル事業	レジ袋削減等3R推進協議会 (大阪府池田市)	商工会議所、市場・商店会連合会、市民団体等で推進協議会を組織し、レジ袋等の3Rを推進する。特に、商工会議所、商店街等と市との自主協定によるレジ袋削減運動、小学校によるマイバッグ持参状況調査や子供1日推進員事業等を実施する。
7	容器包装廃棄物の排出抑制を目指す簡易包装普及推進モデル事業	特定非営利活動法人ごみじゃぱん (神戸市)	消費者、事業者、大学、行政が協働で、情報提供とインセンティブの設定による簡易包装商品の普及を図る検証事業を行い、当該商品の販売実績、消費者の行動の変化について把握・分析する。